

# 九戸村合併70周年記念講演会

## これからの中山間農業の可能性

講師

東京大学大学院特任教授  
名誉教授

鈴木宣弘氏



<プロフィール>

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。九州大学大学院教授を経て、2006年から東京大学大学院農学生命科学研究科教授、2024年4月から同特任教授。食料安全保障推進財団理事長を兼務。FTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、コーネル大学客員教授などを歴任。日本の食料安全保障問題の第一人者として食料危機への対応を訴え続ける。『食の戦争』『農業消滅』『世界で最初に飢えるのは日本』『マンガでわかる日本の食の危機』『このままでは飢える!食料危機の処方箋』『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』『食の属国日本:命を守る農業再生』『令和の米騒動』『もうコメは食えなくなるのか』『コメショック』等、著書多数。

令和8年 2月25日 水曜日

会場/  
HOZホール  
(九戸村公民館)

講演会

午前10時45分頃から<sup>講</sup>  
※当日は農業生産者の集いの記念公演として行います。

参加費

無料

定員

先着200名(先着順、事前申込み不要)

主催  
お問い合わせ

九戸村 産業振興課 (担当:中村)

0195-42-2111 内線253